

抵抗ボックス

MXOP-LB-101

【取扱説明書 1.0.1】

本製品は、トリガーコイルの出力安定用に、一体型リーダー又はトリガーユニットとの間に接続する機器です。

本書の内容は、製品の仕様も含め改良のため予告なく変更することがあります。本書に掲載されている内容は、2016年9月のものです。

MATRIX

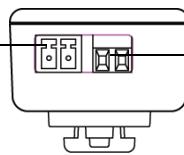
△使用上のご注意

- 各線はしっかりと確実に接続してください。
- 改造・分解しないでください。
- 激しい衝撃を加えないでください。
- 幼児の手に触れる場所に放置しないでください。
- 异物を入れないでください。
- 水が入ったり、濡れたりする場所で使用しないでください。
- 本製品の上にものを置かないでください。
- 湿気や埃の多い場所、油煙や湯気があたる場所で使用しないでください。

1. トリガーコイルを接続

△ 本製品を取り付ける本体機器の電源を、必ず OFFにしてから接続してください。

差込式端子台
差込式端子※を使って、トリガーコイルを接続します。

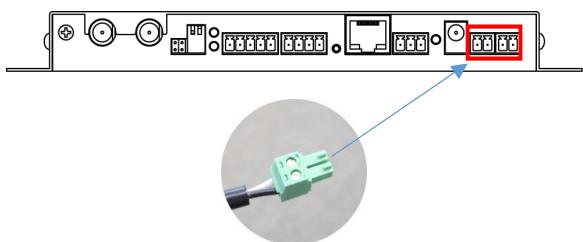


ねじ式端子台
差込式端子が無いトリガーコイルとの接続の際は、こちらを使用してください。

※RT301などの本体機器
に付属の差込式端子

2. 本体機器に接続

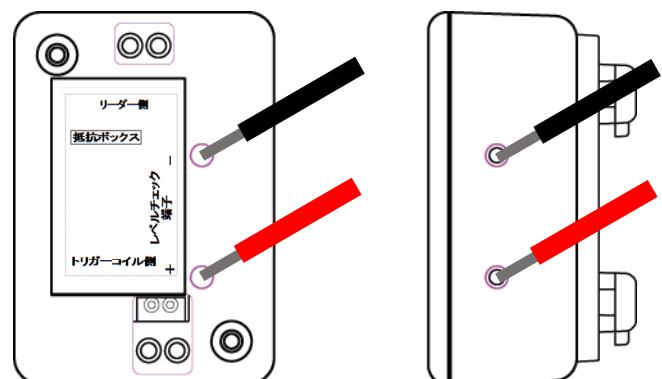
本製品に接続済みの差込式端子を本体機器 (TRG コネクタ) に接続します。



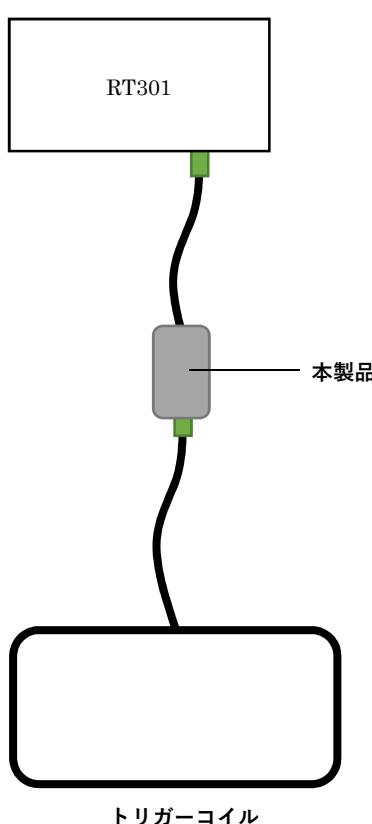
※上図は RT301 の接続例です。機器によって TRG コネクタの場所が異なる場合があります。

3. レベルチェック

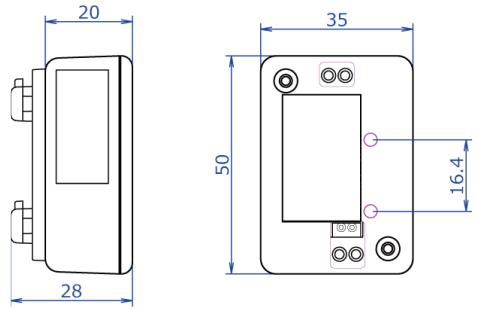
デジタルマルチメーターを DC 電圧測定モードにして、レベルチェック端子にテスター棒を差し込みます。



蓋側、右側面側のどちらでも測定できます。



外形図（本体）



外形図（壁掛けプラケット）

